

## 既存建築物の石綿含有建築材料使用調査書

### 1. 調査建築物の概要

大阪府内建築行政連絡協議会標準様式

確認済証番号	昭和・平成	年	月	日	第	号	
検査済証番号	有り (昭和・平成	年	月	日	第	号)	無し
建物主要用途		構造種別	SRC造	RC造	S造	W造	その他
建築面積	m <sup>2</sup>	階数	地上	階 / 地下	階		
延べ面積	m <sup>2</sup>	耐火・準耐火	耐火建築物	準耐火建築物	その他		

### 2. 調査した日

平成	年	月	日	~	平成	年	月	日
----	---	---	---	---	----	---	---	---

### 3. 調査した者

( )級建築士	( )登録	第	号
( )級建築士事務所	( )登録	第	号
事務所名:			
氏名:		(連絡先:	

### 4. 調査の方法

設計図書等による確認	建材の分析結果	その他の方法 ( )
------------	---------	------------

### 5. 調査の結果

吹付け石綿・吹付けロックウールの有無	有り	無し
--------------------	----	----

建築主

#### < 記入上の注意事項 >

当調査書は、増築等をする棟について記入してください。

「5. 調査の結果」の欄については、石綿等をあらかじめ添加した建築材料で石綿等を飛散させるおそれがないものとして国土交通大臣が定めた建築材料以外の建築材料(吹付け石綿・吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1%を超えるもの)の使用の有無について記入してください。

記入にあたっては、該当する項目の 部分に"レ"印をいれてください。

当該調査書には、必要により、調査範囲のわかる図面(平面図等)を添付してください。